

令和6年度 第1回 柏市上下水道事業運営審議会

1 開催日時

令和6年6月24日(月) 15時00分～17時15分

2 開催場所

柏市上下水道局庁舎 4階 401・402会議室
柏市千代田1丁目2番32号

3 出席者

(1) 委員

落合委員(会長), 堀田委員(副会長), 佐藤委員, 谷委員, 宮田委員, 秋元委員, 小貫委員, 廣瀬委員, 大菌委員, 川端委員, 中川委員, 裕富委員, 山崎委員

(2) 事務局

飯田上下水道事業管理者, 小川理事, 須藤総務課長, 野口経営企画課長, 小池料金課長, 小池給排水課長, 新井水道工務課長, 松崎下水道工務課長, 深山施設管理課長 他

4 議題

- (1) 柏市の上下水道事業の概要について
- (2) 水道事業及び下水道事業の予算と決算について
- (3) 柏市水道事業ビジョン及び柏市下水道事業中長期経営計画の改定スケジュールについて

5 報告事項

- (1) 管路内水位観測システムについて
- (2) 令和5年度市議会定例会での質問等について
- (3) 上下水道局における広報・啓発活動について
- (4) 柏市の水道施設におけるPFOS及びPFOAの対応について

6 議事

議題 (1) 柏市の上下水道事業の概要について

質疑なし

議題 (2) 水道事業及び下水道事業の予算と決算について

質疑 (堀田委員), 回答 (事務局)

Q. 内部留保資金の推移について。令和5年度の未処分利益剰余金の金額と、水道事業ビジョンの策定当時（見直し当時）に予想された推移と比較して、現在どのような状況か。

A. 令和4年度の未処分利益剰余金の残高は、水道事業で23億5411万円、下水道事業で15億6784万7千円。令和5年度は、水道事業での増加額が21億1千48万円、減少額が23億5411万円と、令和4年度の残高と同額であり、令和4年度の残高を令和5年度で使い切っている。令和5年度の未処分利益剰余金の増加額21億円は、令和6年度で処分する。下水道事業での未処分利益剰余金は令和5年度増加額が12億601万5千円、減少額が15億6784万7千円。水道事業と同様に、令和5年度の減少額が令和4年度の残高と同額になり、増加額は翌年度処分する。

質疑 (堀田委員), 回答 (事務局)

Q. 柏市水道事業ビジョン中間見直し版の28ページに、財政収支の将来見通しがある。図3.7に内部留保資金の予想推移が記載されているが、令和5年から令和7年を見ると概ね予想された水準にあると思う。一方で、図3.6収益的収支の将来長期見通しを見ると、現在の収益的収支は予想より低くなっているようである。特に令和5年度の決算は少なくなっているように見えるが、長期的な見通しはこの予想通り考えていくべきか。もっと悲観的に見るべきか。

A. 収益的収支については、経費の増加があり想定よりは厳しい状況にある。一方で、補填財源に使うことができる内部留保資金は、水道事業ビジョンの予測では40億円程度になる。令和5年度の決算期末残高では85億円程度あり、45億円程度の開きがある。経営がうまくいっているのか、予定されていた工事が進んでいないのかについての検証が今後必要になる。

質疑 (中川委員), 回答 (事務局)

Q. 老朽管の更新、耐震化について、全体に対して何%程度完了しているか。残りは何%程度で、今後どのくらいの金額をかけて進めるのか。

A. 水道管の老朽管の更新，耐震化について，全体の管に対する令和4年度までの耐震化率は33.8%で，年に17億円程度かけて更新事業を行っている。水道事業ビジョンにおける令和7年度の目標値は33.7%であり，現在は目標を達成し，予定通り進んでいる。年間で9～13km程度の管の工事を進めている。

Q. 老朽化が進んでいるとのことだが，柏市は何年までに全ての管を更新し耐震化できるのか。

A. 時間とお金のかかる事業であり，全ての管を耐震化すると考えた場合，過去の試算では令和57年までかかる見込みであった。全ての管を耐震化する必要があるかなども含め，今後の計画を考えていきたい。

質疑（落合委員），回答（事務局）

Q. どのくらいの管をどのように更新していくのかが見えない。次回の審議会時には，上水下水ともに今後の進め方がわかるような資料を提示いただきたい。

A. 今後，資料を提示していきたい。

質疑（大藪委員），回答（事務局）

Q. 収益的収支が下がっているとのことだが，生活の中で節水意識を持ち，なるべく水道料金を払わないように努力している。水道料金の利益が少なくなる一方で，資本的収支の方にはお金がかかる。水道料金は今後値上げしていくことになるのか。

A. 柏市の人口推計は，2035年までは増加の傾向である。これにより水道使用量も増えるため，収入も微増すると考えている。内部留保資金に余裕もあるため，当面は値上げしない方向で検討したい。

質疑（宮田委員），回答（事務局）

Q. 全国的に水道料金の値上げをする事業者が増えている。例えば，埼玉県では受水単価が上がっており，水を買っている団体が給水単価を値上げしている。柏市は北千葉広域水道企業団から受水しているが，受水単価の値上げはどのくらいの増加が見込まれているのか。

A. 7月から北千葉広域水道企業団で今の受水単価について議論が始まるため，具体的には決まっていない。柏市として，受水単価について適正な議論となるための主張をしていきたい。

意見（宮田委員）

受水単価は非常に大きい割合を占める。柏市はその影響が大きい団体であるため、確認をしっかりとっていただきたい。

質疑（柏富委員），回答（事務局）

Q. 災害用トイレについて，昨年度は小学校の整備が終了し，今年度は中学校の整備ということだが，この事業はどのようなものか。

A. 下水道が供給されている学校を対象として整備を進めている事業で，昨年度は市内30校への設置が完了している。3日間程度，汚水を貯留できる構造の貯留管を学校施設内に設置する。通常時は，マンホールの蓋があるだけだが，災害時はマンホール蓋の部分にブースや便器を設置して，トイレとして使うもの。3日間程度貯めた汚水は，下水道に直結しているためそのまま流すことができる。また，水を常時貯留できる仕組みになっており水道が止まった場合でも使用可能。災害用井戸等から注水し，ある程度溜まったら流すようになっている。手押しポンプ付きで水洗化されており，弁もあるため匂いが上がってこず快適に使用できる。ブースはバリアフリーに対応しており，車いすの方等も利用可能。

Q. 大堀川リバーサイドパークの防災倉庫にあるものと同じものか。

A. 大堀川リバーサイドパークには下水道管が整備されていないため，汲み取り式の災害用トイレが設置されている。

質疑（佐藤委員），回答（事務局）

Q. 生活で様々なものが値上げされている中であるが，一番最近水道料金や下水道料金が値上げされたのはいつか。

A. 水道料金について，消費税の税率改定等を除き，料金表の改定があったのは平成11年7月となる。下水道料金は平成24年5月となる。

A. 柏市では，水道料金は平成11年から20年以上値上げしていない。水道料金は生活に直結するものであるため，柏市に限らず全国の自治体でそのような傾向である。先日ニュースで取り上げられていたが，値上げしないが故に貯えがなくなり，管の耐震化事業等に影響が出てくる可能性がある。また，水の仕入れ値が上がっていくにも関わらず水道料金に転嫁できないと，貯えの中から賄うようになることも考えられる。いつまで持ちこたえられるのか，という部分を，今年度から2年間かけて策定を進める水道事業ビジョンの中で見通しを立て，数字に関する説明等を行っていききたい。

意見（谷委員）

前回の水道料金値上げの際に審議会委員をやっていた。3通り程、案が提示されたが、反対意見もあったため最終的には3つの案のうち真ん中の案になったと思う。その時は5%も上がっておらず、ほんの少しの値上げであった。

議題（3） 柏市水道事業ビジョン及び柏市下水道事業中長期経営計画の改定スケジュールについて

質疑（川端委員）、回答（事務局）

- Q. 中長期計画を立てるにあたり、既存施設の改修計画は何を基準として決めているのか。
- A. 下水道管の老朽化対策については、5年間の包括的民間委託で柏管路包括共同企業体に委託し調査を実施しており、結果で緊急度を1から3に分ける。3は修繕をすれば5年以上もつ管、1と2については修繕してもこれ以上もたない管という判断になるので、これについて改修を進めていく。

質疑（川端委員）、回答（事務局）

- Q. 布設した時期が重なった場合、時期によっては緊急度の高い管が多かったり少なかったりすることになると思う。たまたま改修が多い時期となったとき、予算の関係で先送りになってしまうことなどはあるのか。
- A. スtockマネジメント計画を立て、予算の平準化を図っている。ある程度前倒しにする部分があるので、突出した年がないようにしている。例えば、昭和56年はかなり管が伸びているため、これを一気に改修するとなると、その年だけ負担がかかってしまう。これらを100年程の単位で考えて平準化し、改修できるように進めている。

質疑（中川委員）、回答（事務局）

- Q. 安心安全な水について。先月、井戸水に有害物質が含まれており、市内30か所で報告されたというニュースを見た。有害物質の知識がないため怖いと感じる。自分たちの使っている生活水が安全なのかが一番気になる。浄水器を使わなくても、例えば、公園の水などを子どもたちが飲んでも大丈夫なのか。昔は全く気にしていなかったが、今は放射線物質もあり、震災の後話題になったこともあったと思う。子どもたちが安全に飲める水なのか、安全性について伺いたい。
- また、下水道ハザードマップが公表されているが、これはどのくらいの頻度で見直し、更新されているのか。

- A. ※報告事項(4)にて説明予定であった「柏市の水道施設におけるPFOS及びPFOAの対応について」に関して、資料7に基づき説明を行った。
- (PFOS及びPFOAについて) 直近の速報値は、採水日が令和6年6月3日のもの。全ての水源地において、PFOS、PFOAの合算値が5ng/ℓ未満であり、国の暫定目標値(50ng/ℓ以下)を満たしているため飲用可能。
- (ハザードマップについて) 現在配布中のものは1時間当たり79.5mmの雨量を想定したもの。これは今までに柏市が経験した被害の大きかった雨量のモデルであり、これを柏市全域に当てはめた場合に浸水被害がどのくらいになるかという想定で作成している。令和3年度に水防法が改正された。今までは既往最大を想定したものであったが、これからは想定最大で1000年に1度くらいの雨量を想定してシュミレーションしハザードマップを作成することとなっている。1時間当たり153mmの雨が降った場合、柏市にどのような被害が起こるか、浸水がどのくらいの時間続くかということ想定し作業を進めており、今後新しいものをお配りする予定である。

質疑 (大菌委員), 回答 (事務局)

- Q. 東京に住んでいた時に、杉並区は浸水が沢山あった。善福寺川の近くなどに大きなマンホールのようなものを作っていたが、柏市はそのようなことをやる予定があるのか。
- A. 柏市は雨水管の整備率が23%と低い状況にあり、継続費で雨水管の整備を進めている。柏市の計画では、5年に1度発生するような1時間当たり50mmの雨量に対応するために下水道管の整備をしている。最近短時間にかかなりの量の雨が降ることが多いので、既存の施設だけでは対応することが難しい。そのため、ハザードマップを配布して避難を呼びかけている。また、管路内に水位計を設置したので、それを見て判断し避難などの対応をとってほしいと考えている。1時間当たり50mm以上の雨の場合については、今後検討しながら別途対応していくことになる。今現在は、1時間当たり50mmの雨量を対象として、浸水が多いところから雨水管の整備を進めている状況である。

報告事項 (1) 管路内水位観測システムについて

質疑なし

報告事項 (2) 令和5年度市議会定例会での質問等について
質疑なし

報告事項 (3) 上下水道局における広報・啓発活動について
質疑 (中川委員), 回答 (事務局)

- Q. 上下水道局のホームページは、柏市公式LINEと連携していないのか。一般市民としては上下水道局についての情報を知りづらい状況にある。柏市公式LINEは、ハザードマップなどにも簡単にアクセスできるようになっている。これに合わせて上下水道局もリンクを貼るなどして、アクセスしやすい仕組みがあると使いやすいのではないか。
- A. 上下水道局も柏市公式LINEは使用可能であるが、上下水道局としての公式LINEを活用した情報発信は災害等の非常時が想定され、平時の発信では公式LINEを使用していないのが現状である。上下水道局ホームページは新たにキッズページを作成するなどして、特に学校関係者から好評いただいているところである。様々なイベント等の情報も今後積極的に発信していきたい。

報告事項 (4) 柏市の水道施設におけるPFOS及びPFOAの対応について
議題(3)の質疑内で説明済

7 傍聴
傍聴者1名